

発行 度会町 編集 総務課 印刷 文化印刷有限会社



## 長原保育所幼児交通安全クラブを結成

幼児と母親が一体となって交通安全のきまりを身につけ実行し、交通事故から幼い命を守ろうと、長原保育所の母親たちが、幼児交通安全クラブを組織し、7月28日（金）その結成式と第1回集合訓練を行ないました。

式には、県交通安全課の片岡主査をはじめ中川助役、河邑麻加江警察官、幼児とその母親ら130名が参加し、亀田長原保育所幼児交通安全クラブ会長、中川助役の挨拶のあと片岡主査らの交通安全に対する母親の役割や取り組み方など意義ある講話をきき、また映画「交通の中の子供」をみて、交通安全に対する意識を深めました。

このあと広場で集合訓練を開き、交通安全体操や模擬信号機を使っての正しい横断のしかたなどおまわりさんの指導により、正しい交通ルールを身につけました。

今後は、毎月1回集合訓練を実施して、交通事故防止に取り組むこととしておりますが、地域のみなさんのご協力もお願いします。

なお、本町では昨年結成された棚橋保育所に次いで2つ目の組織で、県下ではすでに84組織が結成されております。

### 町のうごき

人口男	4,309
女	4,478
計	8,787
世帯数	1,962
出生	12
死亡	5
転入	26
転出	11

53・8・1現在

# 予算など18議案を可決！！

## 副議長は杉本光郎氏

昭和五十三年第一回臨時町議会は、六月二十四日招集され、一般会計補正予算案（第一号）など四議案を審議、原案どおり可決しました。

七月二十日から二十二日までの三日間を会期として開かれた、本年度第二回定例町議会は、第一日目、恒例による役員改選を行い、議長に廣良松氏、副議長に杉本光郎氏を選出し、各常任委員会の役員も決めました。

このあと町長から提案された一般会計補正予算案（第二号）など十七議案の提案理由の説明が行なわれ、第二日目以降は一議案の提案理由の説明のあと、全議案に対する質疑や細谷、大西、西村、玉串、南、喜多の各議員から一般質問がなされ、全議案を各常任委員会に付託して慎重審議の結果、全議案を原案どおり可決しました。

また、八月四日招集された第二回臨時町議会では、度会中学校屋内運動場新築工事請負契約の締結について審議され、原案どおり可決しました。

### 可決された議案

#### 第一回臨時町議会

##### ◆昭和五十三年年度会町一般会計補正予算（第一号）

一千七百四十九千円を追加し、総額十四億七千七百八十六万六千円と定めました。

主な内容は、歳入で繰越金一千七百四十九千円を追加歳出では、棚橋保育所建設用地茶樹等補償費四百八万九千円、麻加江生活改善センター

##### ◆建設用地購入費や茶樹等補償費三百四十四万二千円、農免道

路測量設計委託料など八百七十一万四千円をそれぞれ追加

◆度会町職員定数条例の一部を改正する条例

保母の定数を十五名から十六名に改めたもの。

◆工事請負契約の締結について

##### ◆町道注連指線道路改良工事の工事請負契約に伴ない議会の議決を求めたもの。（契約金額四千八百五十万円、契約者、伊勢市円座町（株）森組）

◆専決処分の承認を求めることについて

次の三項目について、それぞれ専決処分したことにより議会へ報告し、承認をうけたもの。

(一)昭和五十二年年度会町一般会計補正予算（第五号）は、棚橋保育所建設用地取得事業と現年災公共土木施設災害復旧事業の起債融資額が決定さ

#### 第二回定例町議会

##### ◆昭和五十三年年度会町一般会計補正予算（第二号）

三千七百五十五万七千円を追加し、総額を十五億一千五百四十二万三千円と定めまし

◆昭和五十三年年度会町簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）

六万六千円を追加し、総額二千八百九十六千円と定めました。

歳入で、簡易水道使用料一万四千円、水道管移設補償費四万六千円をそれぞれ追加。

歳出では、水道管移設工事費など六万六千円を追加。

◆昭和五十三年年度会町農業

れたことに伴ない、歳入で地方交付税四十万円減額、町債四十万円追加、歳出で民生費と災害復旧費の財源内訳の変更を補正したもの。また、県営南伊勢広域農地基幹農道整備事業分担金の借入れについて、債務負担行為の限度額を八百六十二万八千円、期間を昭和五十三年度から昭和六十

十七年度までと定めたもの。

(二)度会町税条例の一部を改正する条例

(三)度会町国民健康保険条例の一部を改正する条例

(一)、(二)の条例は、地方税法の一部を改正する法律が、三月三十一日公布されたことに伴ない、町税及び国保税条例の一部を改正したもの。

### 就任のごあいさつ

議長

廣 良 松

朝夕はようやくしのぎよく  
なりました今日のごころ、町  
民の皆様には愈々ご健勝のこ  
とと存じます。

さて、去る七月の定例町議  
会において不肖私、はからず  
も議員各位のご推挙により、  
議長に就くことになり

ではおれず、林業、畜産も依  
然として斜陽の域を脱するこ  
とは出来ません。執行部とも  
ども産業振興の一環として取  
り組んで参らねばならないも  
のと存じます。

教育民生面では、度会中学  
校の屋内体育館の新築工事が

生きがいのある「町づくりと  
町民の福祉増進を旨として、  
堅実な歩みを続けなければな  
りません。

目下当面する町政にはなお  
幾多の重要案件と将来の夢が  
山積しており、これが解決に  
は議決機関の使命はいよいよ

校の屋内体育館の新築工事が

校の屋内体育館の新築工事が

校の屋内体育館の新築工事が

# 7月定例町議会

# 一般会計補正

## 議長に廣 良松氏



ました。誠に身に余る光栄であり、あつ、責任の重大さを痛感いたしております。

昨年米から国においては、円高問題、不況による倒産、新らしい米の生産調整の問題などあまり芳しからぬ課題が続出して、内外ともに激しく揺れ動いております。この様な問題は直ちに市町村に深刻な影響を及ぼし、ことに米の生産調整については、零細農家の多い当町にとって肌身にひびく重大なことであり、決して避けて通ることは出来ません。特産物である茶葉も産地競争の渦の中で安閑とし

始まり、また、棚橋保育所及び麻加江生活改善センターは近く着工されます。

土木面では、田口大橋の下部工事が着々として進み、度会町と大台町の短縮も二、三年中には実現する運びとなっております。また、広域農道の推進、南岸農免道路の延長工事など、予定どおり進められていることはご同慶の至りと存じます。

昨年策定されました度会町総合計画に基づいて、町政が進められているわけであり、その基本計画に示されている「明るく、住みよい、

重大であるところを痛感する次第でございます。

折角ご推挙いただきましたからには、皆様方のあたたかいご援助とご鞭達を賜わり、議員各位はもとより町民の皆様方の総意を十分尊重し、円満な議会運営のため懸命の努力を傾注して、皆様方のご期待に沿いたいものと誓っている次第でございます。

残暑の折柄皆様方のご自愛をお祈り申し上げ、就任のごあいさつといたします。

地保有税の免除制度が創設されたことに伴い、その認定事務については、慎重かつ公正な運営をはかるため、審議会を設置したものを。

◆度会町立学校給食センター条例の一部を改正する条例

学校給食センターに運営委員会を設置し、その運営を適正かつ円滑に行うため、条文整備をしたものを。

◆災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例

災害により死亡した者一人当りに支給する弔慰金額百五十万円を二百万円に、災害援護資金の被災世帯一世帯当りの貸付限度額を若干引上げたものを。

を一部変更したものを。

◆度会町固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員に、山根清氏(田口)を選任することに同意したものを。

◆度会町農業共済損害評価委員の委嘱につき同意を求めることについて

農業共済損害評価委員に、濱岡福蔵氏(南中村)、西村寿郎氏(天野木)、中山直治氏(注連指)、奥村実氏(坂井)、大西賢一氏(棚橋)、中野重行氏(日向)、奥野可領氏(小川)、野田仁氏(和井野)を委嘱することに同意したものを。

◆昭和五十二年度度会町農業共済事業会計決算の認定について

総合(農作物、家畜、業務勘定)で、共済事業収益合計二千九百八十四万四千四百八十三円、共済事業費用二千二百六十六万九千七百七十七円、純利益七百七十七万四千七百六円を認定したものを。

◆昭和五十三年度水稲無事戻し金の交付について

昭和五十年度から昭和五十二年度に引受けた水稲共済で該当事者七百二人に対し、総額二百二十七万二千五百九十九円を無事戻しするもの。

◆度会町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の均等割額並びに世帯別平等割額につい

共済事業会計第一回補正予算 六十八万三千円を追加し、総額三千七百九十四万五千円と定めました。

収入で主な内容は、家畜共済勘定で家畜共済掛金七万六千円、受取診療補填金十二万二千円などそれぞれ減額、業務勘定で、連合会補助金九万二千円、前年度繰越金七十八万三千円などそれぞれ追加。

支出で主な内容は、家畜共済勘定で家畜保険料四万三千円追加、家畜技術料や家畜共済金など二十四万円減額、業務勘定で給料など一般管理費三十七万三千円、損害評価費十四万円、予備費三十二万九千円それぞれ追加。

◆昭和五十三年年度度会町住宅

新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第一号)

五十五万円を追加し、総額一千三百二十五万一千円と定めました。

歳入で、国庫補助金十二万五千円、県補助金二万五千円、町債四十万円をそれぞれ追加。歳出では、貸付金など五十三万円、一時借入金利子二万円をそれぞれ追加。

◆度会町農協の委員等の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別土地保有税審議会委員、日額三千八百円を加えたもの

◆度会町特別土地保有税審議会条例

恒久的な建物や施設などの用に供する土地に係る特別土

◆度会町国民健康保険条例の一部を改正する条例

助産費の支給について、健康保険法、地方公務員等共済組合法などの規定によって給付をうけた場合には、支給しない旨、条文整備をしたものを。

◆度会町農業共済条例の一部を改正する条例

注連指農協が五月一日から度会町農協と合併したことに伴い、条文整備をしたものを。

◆昭和五十三年度度会町公共的施設の総合整備計画の一部変更について

辺地における公共的施設(橋梁整備事業田口橋、町道整備事業日部線、川上線改良舗装)の事業年度、事業費など

◆国民健康保険税の均等割額並びに世帯別平等割額につい



て、低所得者に対する保険税の軽減額を若干引上げたもの。  
**◆監査委員の選任につき同意を求めることについて**  
 議会選出の監査委員に中廣文男氏（注連指）を選任することに同意したものの。

## 第二回臨時町議会

◆工事請負契約の締結について  
 度会中学校屋内運動場新築工事の工事請負契約に伴ない

議会の議決を求めたもの。  
 （契約金額一億五千九百七十万円、契約者、伊勢市一之木二丁目吉川建設株式会社）

## 正副議長略歴

議長

廣 良松

内城田尋常高等小学校卒、  
 棚橋在住、六十六歳、  
 副議長  
 杉本 光郎氏



〔略歴〕

昭和三十年合併後議員を一  
 期勤め、昭和三十五年度会  
 茶業組合長を経て、昭和四  
 二年七月から昭和五十年三  
 月まで議員を勤める。この間、  
 議長、総務財政、産業土木各  
 常任委員長、度会郡議長会議  
 長を歴任、昭和五十年七月再  
 び議員に当選、また昭和四十  
 六年設立当初から度会町商工  
 会長に就任現在に至る。

〔略歴〕

昭和二十九年一之瀬村議長  
 昭和三十年合併後議員を二期  
 勤め、一之瀬農協専務を経て  
 昭和四十二年再び議員に当選  
 現在に至る。この間、副議長  
 議長、監査委員、総務財政、  
 産業土木各常任委員長を歴任、  
 三重県農林勸修場卒・柳在住、  
 六十二歳。

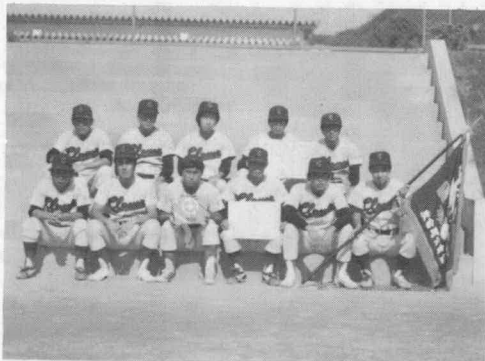
## 町議会の役員構成

（町議会の構成）  
 議長 廣 良松  
 副議長 杉本 光郎  
 総務財政常任委員会

委員長 西井 三郎  
 副委員長 山本 茂生  
 委員 玉串 逸孝  
 廣 良松

中村 茂  
 南 治夫  
 産業土木常任委員会  
 委員長 中西 定  
 副委員長 喜多 武夫  
 委員 中廣 文男  
 杉本 光郎  
 大西 賢一

教育民生常任委員会  
 委員長 西村 金右衛門  
 副委員長 中森 定助  
 委員 御村 友春  
 藤田 幸彦  
 細谷 利一  
 監査委員中廣 文男

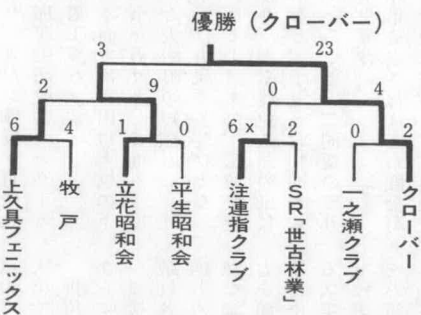


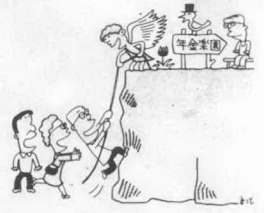
## 第6回町民ソフトボール大会

### 優勝 クローバーチーム

### 準優勝 立花昭和会チーム

第六回町民ソフトボール大会は、七月十六日、二十三日の両日におたり、度会中学校など三会場で、四十三チームが参加して熱戦を展開しました。結果、クローバー（一之瀬）が優勝し、準優勝は立花昭和会でした。  
 なお、優勝のクローバーチ





# 国民年金

## 特例納付で 受給権を!!

して、受給権を確保するよう特に注意してください。

### ◆納める額

一ヶ月 四千円

### ◆納める期間

昭和五十三年七月一日から昭和五十五年六月三十日まで

ただし、この期間に六十五歳に達する方はその前日  
◆国民年金未加入者  
農林漁業や自営業などに従事している人で、職場の年金制度に加入していない人、年金や恩給を受けない権利のない二十歳から六十歳までのすべての人は、国民年金に加入して保険料を納めることが義務づけられています。

また、最近では交通事故など多く発生しています。

このような思わぬ事故により、障害、母子又は遺児などの状態になったときに支給される年金も、未納保険料がありますと、受給できないことも生じてきます。

そこで、時効(保険料は二年を経過すると納められなくなる)で納められない過去の保険料を特別に納付できる措置が設けられました。

この特別納付は、年金が受けられない人にも、もう一度年金を受けられる機会を与えられたものです。

この保険料の納付は、分割でも一括でもよいことになっていますので、計画的に完納

ように国民年金に加入しなければならなかった人も、この特例納付ができますから、至急加入手続をしてください。

◆厚生年金に加入中の人も、以前国民年金に加入し、当時の保険料が未納納付することにより通算年金の対象期間となり大変有利です。

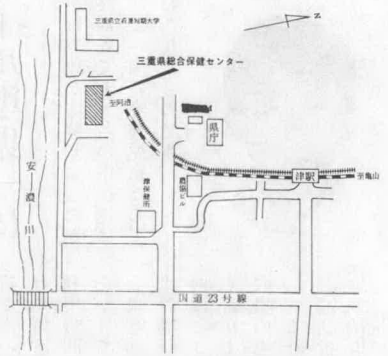
◆特例納付できない人  
厚生年金など職場の年金制度に加入しているか、年金や恩給を受けることができる人または、このような方の配偶者は未納保険料があっても納付することができません。

ただし、この未納期間が強制加入期間のものである場合は納付できます。

なお詳細については、役場国民年金係または、松阪社会保険事務所(電〇五九八―五一―一五)へおたずねください。

# 三重県総合保健センターが完成

## 7月から業務開始



## 成人病検診に利用を

最近、食生活をはじめ生活環境の変化に伴ない、高血圧、心臓病、糖尿病などのいわゆる成人病に悩む人が増えています。そこで、県では県民が進んで検診を受け、健康管理に役立ててもらうため、「三重県総合保健センター」を建設しました。

同センターは、津市栄町一丁目七九番地の一(旧県立大学医学部附属病院跡)に建設され、鉄筋コンクリート造り、地上三階、地下二階、建築面積、延二〇七八・七〇㎡で本年七月からオープンしました。

業務内容は、高血圧、がん、心臓病などの成人検診と、胃がん、子宮がんの精密検査などを行い、疾病の早期発見と早期治療の指導をいたします。検診時間は、日曜日、祝日及び年末年始(十二月二十八日〜一月四日)を除いた、毎日午前九時から午後三時まで(土曜日は午前十二時まで) 検診を受けようとする人は、直接総合保健センターに受診申込書を提出し予約することになっています。

## 中野正司さん

### 防犯功勞で受彰

本年六月二十七日、伊勢市で開かれた第十九回伊勢地区防犯協会の総会で、本町の中野正司さん(南中村)は、防犯一般協力者として、加藤協会展長(伊勢市長)から表彰されました。

同氏は、ガソリンスタンド

経営者として、来訪する青少年に對し、車体の改造、シンナー等乱用少年の発見に對し、適切な注意を与え、また、不審車輛を発見、犯人逮捕に協力するなどの功勞により受彰されました。

## 夏の運動

### 街頭指導で

### 交通事故防止

夏の事故防止運動が七月十一日から八月一日まで展開されましたが、この期間中町内では、街頭指導など交通事故防止活動を行ない成果をあげました。

まず、七月十八日には、棚橋保育所幼児交通安全クラブの母親と幼児約百六十名が参加して集合訓練を実施し、スクールバスを利用してバスの正しい乗り降りの仕方などの訓練をしました。

七月九日には、度会町商工会青壮年部が、また七月三十



日には度会町青壮年部が、それぞれ町内のカーブミラーや案内板の清掃作業をしました。また、七月二十五日には、町と伊勢交通安全協会度会支部をはじめPTA、婦人会など各種団体の参加をえて、県道伊勢南島線橋川口地内、県道伊勢大宮線棚橋地内、坂井地内の三カ所で街頭指導を行い、マッチやチラシ、ステッカーなどを運転者に配り、事故防止を呼びかけました。



自賠責保険金額一覧表

種別	旧金額	改正額	
	1500万円	2000万円	
保 險 金 額	死亡による損害	100	120
	死亡に至るまでの傷害による損害	100	120
	傷害による損害	1500	2000
	1級	1332	1776
	2級	1175	1567
	3級	1030	1373
	4級	884	1179
	5級	750	1000
	6級	627	836
	7級	504	672
	8級	392	522
	9級	302	403
	10級	224	299
	11級	157	209
12級	101	134	
13級	56	75	
14級	100	160	
仮 渡 金	死亡した者	25	40
	重傷	15	20
	その他の傷害	3	5

## 自賠責保険(強制保険)

### 死亡二千万円に

自動車損害賠償責任保険金額が、本年七月一日から一部改正され、死亡の場合一千万円から二千万円に、また金額が改正されました。

## 坂口昌明くん(内小)

### よい歯のコンクール準県一に

内城田小学校六年生の坂口昌明くん(大野木)坂口勝さん(長男)は、七月に開かれた歯科医師会、県教育委員会、歯科保健会主催の三重県よい歯の児童、生徒の審査会において、準県一(優秀)に選ばれ表彰されました。

この審査会は、郡、市の歯科医師会の推せんにより、県



科医師会の推せんにより、県

## 寄贈

このたび、平生伊佐雄さん(南中村)から、一之瀬小学校の校舎前へ立派な花壇(長さ三十m、幅〇、六mで、ブロック一段積み)を造っていただきました。厚くお礼申し上げます。

中川小第二運動場に

「四-〇三五〇」

キャビネット電話設置

このほど、中川小学校第二運動場(夜間照明施設)に、公衆電話が取り付けられました。

昨年八月完成したこの施設では、ソフトボール大会など皆さんの体力づくりに利用されて好評をえておりますが、利用時間中の諸連絡にご不便をかけてきましたことから、公衆電話を設置したもので、設置場所は、管理室前で電話機はキャビネットに収納されております。利用される方は取扱いを正しく、大切に利用してください。

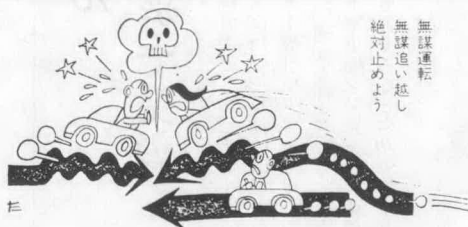
電話番号は  
〇五九六六④〇三五〇です。

## 秋の全国交通安全運動

9月21日(木)～9月30日(土)までの10日間

運動の重点

- 歩行者及び自転車利用者特に子供と老人の交通事故防止
- 安全運転管理の充実と安全運転の促進
- 安全快適な道路交通環境の整備



無謀運転  
無謀追い越し  
絶対止めよう





お知らせ版



交通遺児育成資金の

貸付制度の利用を

自動車事故対策センターは、義務教育終了までの交通遺児を自動車事故対策センター法(昭48年法律第65号)によって、するまでの間行うもので、は設立された政府関係機関です。はじめに一時金が9万円、貸付その業務の一つとして、「交通の期間中、毎月8千円、小遺児育成資金」の貸付けを行学校及び中学校への入学の際つています。この貸付は、0歳から義5千円がそれぞれ無利子で貸

下半期

交通事故巡回相談

▼相談日(第一、三木曜日) 53・10月5日、19日 11月2日、16日 12月7日、21日 54・1月18日 2月11日、15日 3月1日、15日 (相談日が祝祭日の時は、付けられます。この貸付金の返済方法については、義務教育が終了後20年間の均等分割で行えばよいことになっており、高校、大学等へ進学した場合には、その在学期間中は返済が猶予されます。現在、この貸付けを受けている交通遺児の数は、九千人を超えるに至っていますが、まだこの貸付け制度を知らない交通遺児家庭もかなりあるものと考えられます。自動車事故対策センターでは、種々の機会を通じてこの貸付け制度を一人でも多く利用されるようにと呼びかけています。くわしいことは、自動車事故対策センター三重支所、〒五一四、津市栄町三一八六、富士屋ビル ☎〇五九二〇五九一〇〇七へお問い合わせください。

交通安全標語の

入選者きまる

伊勢交通安全協会年度会支部では、本年一月みなさんから交通安全に関する標語を募集していましたが、応募点数四十六点の中から審査の結果、次の作品が入選と決まり、入選者に賞状と記念品が送られました。最優秀作品|松本貞子さん 欄橋 ゆずり合う 運動マナーが 身を守る 道に出る時 先ず腰のして

戸籍の窓 おめでた

〇五月中に届出のもの

- 氏名 父名 続柄 字名 刀根 正樹 義文 長男 下久具 岡村 学 洋 二男 棚橋 中村 友久 久 長男 棚橋 大北 真樹 重樹 長女 棚橋 神森ゆづ美 治司 長女 脇出 世古 智美 由雄 長女 和井野 前田 純子 保夫 二女 注連指 倉田 聡 和重 三男 下久具 福井 良喜 光治 長男 大野木 山本 和希 正夫 二男 田口

おくやみ

〇五月中に届出のもの

- 氏名 年齢 字名 喜多志かの 90歳 田口 長谷川春次 52歳 南中村 中山 保 35歳 注連指 野田美喜夫 43歳 田口 門野 新助 89歳 脇出

〇六月中に届出のもの

- 山下ますみ 秀男 二女 南中村 加藤 美恵 照宏 二女 棚橋 井戸本祐一 孝晴 長男 牧戸 山下 由花 悟 長女 大野木 北村 拓美 実雄 二女 長原 岡村 友記 久 長男 田間 田畑 雅希 稔 長男 和井野 門野 早希 定 長女 脇出 中森 純子 富 長女 大久保 岡野 文香 満 長女 小萩 谷口 展彦 忠夫 長男 麻加江 青木 瑞枝 民夫 長女 脇出 八木 孝浩 攻 長男 市場 福井 睦 完治 二男 大野木 福井 英子 清 長女 大野木 橋村 季真 清重 長男 棚橋 西岡 景子 一文 長女 和井野

〇七月中に届出のもの

- 山下 キク 69歳 大野木 上村 竹治 54歳 注連指 大久保 正 38歳 川口 山口やゑの 64歳 葛原 栗原 トク 65歳 下久具

でんでん

黄色い公衆電話

長距離に便利です



最近、街角で黄色の公衆電話が目につくようになりました。ダイヤル式・プッシュ式どちらも百円硬貨が使えます。遠距離の市外通話に便利な公衆電話です。まず、十円玉を二、三枚入れてダイヤルし、先方を確めしてから、百円玉を使用するのがコツです。硬貨は十円玉が十枚と百円玉九枚まで、一度に入れることができます。通話が終って受話器をかけると余った金もどりますが、百円玉は百円単位で収納されるため、つり銭はできません。(伊勢電報電話局)